

妙安寺だより 342

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

節分というのは節々の境目をいい、もともと一年に四回ありました。

立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれ季節の変わり目をみんな節分と呼んでいました。

なかでも立春は冬が終わり、春の始まる日として重要な意味を持っていました。

この立春の頃、ようやく春のきざしが見えるのが実感です。

気象観測によると、立春の頃から日本各地とも平均気温が上昇し始めるので、立春から春が始まると定められた

季節分類は感覚の細やかさや鋭さを示すものと言えるでしょう。

ちなみに、八十八夜・二百十日・二百二十日や、農耕民族であるわが国は、この立春から、苗床・田植え・草取

り・刈り入れなどを起算しているのです。

二月の行事案内

2月3日(日) 午前11時より 木焼式 正午より おトキ(昼食)

古いお札・白木の位牌(初盆を終えた位牌)など1月末日までにお持ちください。

午後 1時より 星祭り(厄除け) 祈願並びに方除け祈願

星祭並びに方除け祈願ご希望の方は、早めにお申し込みください。

星祭り(厄除け) 祈願並びに方除け祈願終了後、豆まき・福引

※当日、三ヶ日祈願・回向のお札、寒修行のお札、星祭・方除けのお札をお渡しいたします。

郵送希望の方は、郵送料として500円をお願いします。

2月16日(土) 午後 1時より 宗祖日蓮聖人御降誕会法要・当山歴代上人報恩法要
永代供養追善法要。

平成25年度 『地涌の声』 功德主の募集

平成25年度の「地涌の声」の功德主を募集しています。

功德主料は、1ヶ月 5,000円です。(約300通、寺報とともに全檀信徒に配布します。)

ご希望の方は、配布2ヶ月前にお申し込みください。(1月・2月・3月・4月・5月・9月・10月・11月は申し込み済です)

名言&ことわざ 7

※飲酒の十徳。

礼を正し、労をいとひ、憂ひをわすれ、鬱(うつ)をひらき、気をめぐらし、病をさけ、毒を解し、人と親しみ、縁をむすび、人寿を延ぶ。(柳沢淇園=文人画家)

* 恩を知る者は少なく、恩をきる者は多し。

恩義を受ける者はたくさんいるが、その恩義を感じるのは少ない。恩を忘れる者が多いの意。